

平成二十六年 度

附属中学校入学試験問題

国語

〔注意事項〕

- 一、試験開始の合図があるまで、問題を開かないこと。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、出身小学校名、氏名、受験番号を解答用紙に記入すること。
- 四、試験終了の合図があったら鉛筆をおき、解答用紙の回収がすむまで席を立たないこと。

〔一〕 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

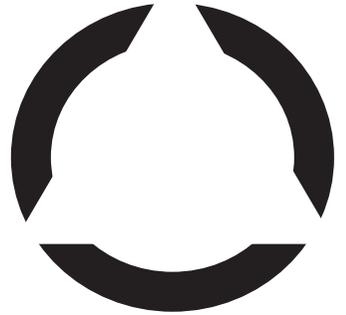
① 人間は忘れる動物だ。がんばって覚えたはずの漢字や年号が、一晚寝たら頭の中から消えうせていたという経験はだれにもあるはずだ。「見て覚えようとするから覚えられないんだ。何度も書いて覚えろ。」というのは学校の先生のお決まりのセリフだ。確かに目ではなく手で覚えるほうが頭によく入る。覚えたつもりで安心するのではなく、覚え込むところまで努力することが大切だ。

② しかし、①で覚え、テストでも書けた漢字が、しばらく時がたつと書けなくなっているのはどうしたことだろう。「憂鬱」の「鬱」の字を書けるようにしようと②念発起。きちんと書けるようにしたはずなのに、数か月後に書いてみようと思いついたときに、書けなくなっていてびっくりする。数か月前に書けたのは確かな事実だ。それが今は書けない。情けなく思いながら再び覚えなおす。私の場合、そんな経験が「鬱」の字について少なくとも三度は過去にくり返された。

③ 人間は忘れる動物だ。ただ、それは、コンピュータのデータ〈資料〉を消去するのとはちがう。データは頭の奥に残っている。③、覚えなおす作業は、初めて覚える時よりも楽に行える。頭の「引き出し」から引っ張り出してくればよいだけだからだ。

④ そう、「引き出し」だ。机の上を想像してみよう。作業を進めていくうちに、たくさんものが山積みになっていく。だんだん作業スペース〈場所〉がせまくなり、仕事が進まない。さて、どうしよう。簡単なことだ。今使わないものを「引き出し」にしまって、机の上を広くしてやればよいだけだ。「忘れる」とはそういうことだ。「鬱」の字の書き方などという普段使わないものは「引き出し」の奥深くにしまって、考えるための作業スペースを広くしてやる。「忘れる」ことは欠点ではない。むしろいらぬものを自動的に片付けてくれる、人間にあたえられたすばらしい能力だ。

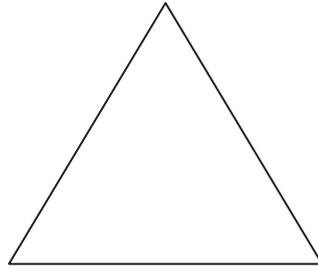
⑤ ④、次の図①の中に、君は何を見るだろうか。ただの途切れた円にすぎないが、きつと図②のような三角形が



図①

見えるはずだ。三角形の辺や角の先たんが描^{えが}かれているわけではないのに、それ¹を私たちの目は見ている。「無いのに有る」だ。

⑥ 受信状態が悪いラジオから聞こえてくる、途切れ途切れの音声。「たい◇うのせつ ※んにより、やまぐ●けんにはおおあめが△りつづき…」ザーザーという雑音にかき消された部分を補って、「台風の接近により、山口県には大雨が降り続き…」と、私たちの耳は理解する。これも「A」の「B」だ。



図②

⑦ 文字・音声を問わず、私たちはいろいろな言葉に囲まれている。車に乗ってナビ（音声などによって目的地への道案内をする装置）を設定すれば、「300メートル先を右折してください。」「間もなく右折です。」「ここを右折してください。」と、大変親切に声をかけてくれる。うっかり急ブレーキをかけようものなら、画面上のキャラクター（登場人物）が「プン、プン、そんなに急に止まるとつんのめっちゃうよお。」と説教までしてくれる。そんな時、「うるさいわい！こつちにも止まらにゃならん事情っちゃうもんがあるんじゃない！」と声を⑤のは、正しい大人の対応ではない。心のなかで（お前の言うことは聞いちゃらん）と思いながら、優しくほほえんでいけばよい。

⑧ コンビニエンス・ストアに立ち寄れば、「ポテト揚^あがりました。お一ついかがですか。」とフライドポテトを

すすめる機械的な声が店内にひびくことがある。そんな時、「せっかくすすめていた²のですが、わたくしはけっ³こうで³ございます。」と返事をするのも、正しい大人の対応ではないだろう。これも何事もなかったかのように聞き流しておけばよい。

⑨ 私たちの周りは「聞き流してよい」あるいは「聞き流したほうがよい」言葉にあふれている。⑦、「無いのに有る」

ことにする力を持った私たちの優秀な頭は、今度は「これは聞き流してもよい情報だ」とすぐに判断し、いらぬものを「C」のに「D」"ことにして自動的に片付け、必要と思われる情報だけを耳に残してくれる。それは、不要な情報を「引き出し」の奥深くにしまつて、⑧⁴してくれる働きに似ている。

⑩⁴ しかし、気をつけなくてはいけない。心のこもっていない安物の言葉を聞き流すことが習慣になっていると、心のこもった、「聞き流してはいけない」言葉まで、うっかり聞き流してしまいかねない。きちんと人の話を聞けない子どもがいると、「この子は安物の言葉に囲まれて、人の言葉を聞き流すことが習慣になっているのだな。」と気の毒に思う。大切な言葉を聞き流さないように、そして、安物の言葉ばかりの場所に身を置かないように心がけたいものだ。また、自分自身が、心のこもっていない安物の言葉を発していないか、耳にとどめるに値する言葉を発しているかということも、反省しなくてはと思う。

問一 ①・② に入る最も適当なものを、それぞれ漢字一字で答えなさい。

問二 ③・④・⑥・⑦ に入る言葉として最も適当なものを次の中から一つ選び、それぞれ記号で答え

なさい。

ア また イ そして ウ だから エ ところで

問三 ——線部1「それ」がさすものを文中より十一字で抜き出しなさい。

問四 A・B・C・D に入る言葉として最も適当なものを次の中から一つ選び、それぞれ記号で答え

なさい。

ア 有る イ 無い

問五 ⑤ に入る言葉として最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 荒らげる イ くつろげる ウ 安らげる エ 和らげる

問六 ——線部2「いただいた」・3「ごさいます」の敬語の種類として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 尊敬語 イ けんじよう語 ウ ていねい語

問七 ⑧ に入る適当なものを文中より十五字で抜き出しなさい。

問八 ——線部4「心のこもっていない」と同じ意味で使われている言葉を文中より四字で抜き出しなさい。

問九 全体を大きく三つに分けたとき、二つ目と三つ目のまとまりはどこから始まるか、それぞれ段落の番号で答えなさい。

問十 次のア～エについて、本文に書いてあることと合っていれば○、ちがっていれば×をそれぞれ書きなさい。

ア 筆者が「鬱」の字を書けなくなったのは、見て覚えていたからだ。

イ いったん覚えたものは、忘れたように見えても記憶に残っているものだ。

ウ 人間は忘れる動物であり、その点でコンピュータにおとつている。

エ 私たちは必要な情報と不必要な情報とを無意識のうちに分けている。

問十一 ——線部5「自分自身が、心のこもっていない安物の言葉を発していないか、耳にとどめるに値する言葉を発しているかということも、反省しなくてはと思う。」とありますが、あなたは人と話をする時にどのようなことに気を付けていますか。自由に百字以上百二十字以内で書きなさい。ただし、句読点も一字として数えます。

〔二〕

次の1～6の——線部のカタカナを漢字に直し、7～12の——線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。ただし、送り仮名の必要なものは、それも答えなさい。

- 1 月がアラワレ^ル。
- 2 真実をアキラカにする。
- 3 マクをタラス。
- 4 ソザイの良さを生かす。
- 5 前文をシヨウリヤクする。
- 6 映画のシヨウタイケン。
- 7 差が縮まる。
- 8 蚕を飼う。
- 9 彼の発言を退ける。
- 10 農業を営む。
- 11 道路を練り歩く。
- 12 志が高い。

〔三〕

次の漢字で、二画目になる部分をなぞりなさい。

- 1 陽
- 2 有
- 3 臣
- 4 留
- 5 可

〔四〕

次の——線部の言葉と、対になる意味の言葉（対義語）を、漢字を使って答えなさい。

- 1 辞書を貸す。
- 2 体重が減る。
- 3 通行を許可する。
- 4 意見に反対する。
- 5 自動車の輸出で利益が出る。

〔五〕

次の例にならって、——線のついた言葉がある時に、□□に入る言葉を答えなさい。

(□□のマス目の数に合わせて適切なひらがなを考えること)

(例) まるで本物の□□□□。(ようだ)

1 どうして彼は、約束を守らないのです□。

2 たぶん彼は、約束を守る□□□。

3 たとえ彼が約束を守らなく□□、悲しんではいけない。

4 どうか約束を守って□□□□。

5 きつと彼は、約束を破るに□□□□□。

〔六〕

次の慣用句・ことわざの問いに答えなさい。

1 次の() に色をあらわす漢字を入れて、慣用句を完成させなさい。

① () 菜に塩 すっかり元気をなくしたさま。

② くちばしが() 色い 年が若く経験が浅いことのたとえ。

③ () の他人 全然無関係な人。

④ () い目で見ると 冷たい目つきで見る。

⑤ 腹() い 心がねじけている。

2 「虫」という言葉を使った慣用句・ことわざを二つ答えなさい。

〔七〕

次の文は、有名な古文の始まりの部分です。それぞれの作品の名前を後から選び、記号で答えなさい。

- 1 春は、あけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、少し明かりて、
- 2 今は昔、竹取のおきなといふ者ありけり。
- 3 つれづれなるままに、日ぐらし、すずりに向かひて、
- 4 祇園精舎のかねの声、諸行無常のひびきあり。
- 5 男もすなる日記といふものを、女もしてみむとてするなり。

ア 徒然草

イ 土佐日記

ウ 平家物語

エ 枕草子

オ 竹取物語